

第 36 回 藤田学園同窓会総会議事録

日 時：平成 27 年 10 月 17 日（土）16：30～17：45

場 所：ANA クラウンプラザホテルグランコート名古屋 7F ザ・グランコート

代議員：49 名（内委任状 19 名）／56 名、理事：17 名／19 名、監事 1 名／2 名、
陪席者 19 名

司 会：理事・長谷川

開会に先立ち、志半ばにして逝去された同窓生と藤田学園教職員に対し黙祷
が捧げられた。

I．開会の辞（理事・沖田）

II．会長挨拶（会長・近松）

III．議長選出

近松会長が会長として発言の場が多く議長職に支障をきたす可能性があるこ
とから、定款 16 条に則り、10 月 7 日に開催された理事会の承認により副会長
の丸田氏が議長に選任された。

IV．代議員紹介（副会長・丸田）

各部会から選出された代議員が紹介された（別掲）。

V．議事（副会長・丸田）

1．平成 26 年度事業報告（副会長・丸田）

平成 26 年度において以下の事業が行われたことが報告された。

1) 会員相互の親睦・扶助に関する事業（理事・小島）

支部設立助成並びに部会助成に関する事業は該当なし
周年記念同窓会への支援事業として、

①短期大学・衛生技術科 36 回生の 10 周年記念同窓会

②衛生看護学科 31 回生の 10 周年記念同窓会

③衛生技術学科 33 回生の 10 周年記念同窓会

④衛生学部 9 回生の 35 周年記念同窓会

⑤衛生学部 14 回生の 30 周年記念同窓会

2) 機関誌に関する事業（理事・内藤）

①昨年 12 月に「第 34 号あけぼの杉」を発行

②「第 35 号あけぼの杉」の編集

3) 会員名簿に関する事業（理事・坂）

①名簿作成引当金の積立

②Web 調査・名簿管理

③総会員数：28,547 名（大学院卒業生を含む）、住所不明者：4,823 名、物

故者：266 名

4) 研修会、研究会に関する事業（理事・山内）

①第 60 回日本音声言語医学会総会・学術講演会

②第 26 回日本頭頸部外科学会総会・学術講演会

- ③第 13 回日本臨床医療福祉学会
- ④第 39 回日本死の臨床研究会年次大会
- 5) 奨学金貸与、研究費授与に関する事業（理事・松井）

平成 26 年度は医学部 6 年生 3 名と 4 年生 1 名に、医療科学部 3 年生 1 名に、それぞれ月額 6 万円を貸与。卒業生 7 名より順調に返還。
- 6) 藤田学園の後援に関する事業（理事・長谷川）
 - ①藤田学園創立 50 周年記念事業への寄附金を獨創一理基金に振替積立
 - ②教育の支援として、学園祭協賛及び学生スタッフへの補助、入学記念品と卒業記念品の贈呈
- 7) その他の事業（副会長・丸田）
 - ①獨創一理基金の積立
 - ②個人情報漏洩保険賠償保険継続
 - ③事務局事務員の人件費並びに交通費支給
 - ④総会及び拡大理事会の開催
 - ⑤学園創立 50 周年記念パーティの共催
 - ⑥同窓会館の維持運営
 - ⑦藤田学園同窓会 Web ページの修正
 - ⑧愛知県私立大学同窓会連合会会長校として活動

平成 27 年 6 月を以て、名城大学校友会に会長校を引き継ぎ
 - ⑨学園創立 50 周年同窓会記念事業「感謝の集い」を学園と共催（H26.10.11）
 - ⑩記念誌「Our Voices」を発行
 - ⑪学園創立 50 周年記念パーティ「感謝の集い」記念品
 - ⑫「藤田学園同窓会の歩み」を発行
 - ⑬第 2 回獨創一理ワークショップの開催（H27.6.6～7、名鉄犬山ホテル）
- 2. 平成 26 年度決算報告（理事・原田）

平成 26 年度藤田学園同窓会収支計算書、藤田学園同窓会奨学金基金収支計算書、獨創一理基金収支計算書について会計報告が行われた（別掲）。
- 3. 平成 26 年度監査報告（監事・村田）

平成 26 年度 藤田学園同窓会収支計算書及び財産目録、平成 26 年度藤田学園同窓会奨学金基金収支計算書及び財産目録、平成 26 年度獨創一理基金収支計算書及び財産目録について医学部・内藤監事と医療科学部・村田監事より監査報告が行われた（別掲）。

採決の結果、以上の平成 26 年度の事業及び決算が満場一致で承認された。
- 4. 理事・監事の承認（副会長・丸田）

各部会より推薦された 23 名の新理事が紹介され、平成 27・8 年度は会長・松山裕宇、副会長・濱子二治、小島登美香、専務理事・松井俊和、常務理事・長谷川勝俊、梅村慶子の新体制が承認された。任期は平成 27 年 10 月 17 日から平成 29 年 10 月総会開催日までとする。監事は医学部・内藤健晴氏、医療科学部・山内理充氏、村田幸則氏の 3 名が承認された。任期は平成 27 年 10 月 17 日から平成 31 年 10 月総会開催日までとする。（別掲）

5. 会長挨拶（会長・松山）

6. 議長選出（丸田）

松山会長が会長として発言の場が多く議長職に支障をきたす可能性があることから、定款 16 条に則り、副会長の小島氏が議長に選任された。

7-1. 定款と細則の制定（専務理事・松井）

新一般社団法人藤田学園同窓会定款と細則が提案され、審議の結果、満場一致で承認された。

7-2. 一般社団法人藤田学園同窓会の登記（専務理事・松井）

一般社団法人登記の意義が説明され、新定款と細則を以て、藤田学園同窓会を一般社団法人として登記することが提案され、審議の結果、満場一致で承認された。

8. 名誉会長と事務局長の推薦（副会長・小島）

これまで同窓会活動に多大な功績をなした二代目会長の沖田洋治氏、三代目会長の近松氏が名誉会長に推薦され、審議の結果、満場一致で名誉会長を委嘱することが承認された。引き続き、事務局長に、長年理事を務めた丸田一皓氏が推薦され、審議の結果、満場一致で事務局長を委嘱することが承認された。

9. 平成 27 年度事業計画案（常務理事・長谷川）

以下のように事業計画が提案された。

1) 会員相互の親睦・扶助に関する事業として

- ①支部会設立の支援
- ②同窓会部会の支援
- ③周年記念同窓会の助成

（但し平成 28 年 1 月よりホーム・カミング・デイの企画に移行）

2) 機関誌、会員名簿に関する事業として

- ①機関誌「第 35 号あけぼの杉」発行
- ②名簿管理
- ③名簿作成引当金の積立

3) 研修会、研究会に関する事業として学会並びに学術講演会の支援

4) 奨学金貸与、研究費授与に関する事業

- ①藤田学園同窓会奨学金基金の積立
- ②奨学金貸与
- ③研究費授与

5) 藤田学園の後援に関する事業として

- ①教育の支援
 - いこいの広場コンサート支援
 - 学園祭の協賛
 - 入学記念品、卒業記念品の贈呈
 - 国際交流などの支援

6) その他の事業として

- ①獨創一理基金積立

②個人情報漏洩保険賠償保険継続

③理事会、総会の開催

④同窓会館維持運営

⑤ホームページ管理

⑥愛知県私立大学同窓会連合会副会長校として活動

平成 27・28 年度の 2 年間、松山会長が連合会 副会長に就任

7) 獨創一理基金事業として

①新企画としてホーム・カミング・デイの立案と準備

②藤田学園キャンパス等再生に係る史跡保存のための同窓会事業

現在、藤田学園では大学病院新々棟と生涯教育研修センター2号館、ばんだね病院新棟がそれぞれ起工され、次の 50 年の発展のために数年内の竣工を目指して工事が進められている。一方で、かつては藤田学園の象徴でもあった建築物や構造物などがその役割を終えようとしている。本同窓会事業は、私たちの母校の歴史を将来に繋ぐために重要な史跡や財産を保存することを目的として、同窓生の皆さまに経済的ご支援をお願いする予定である。以上の趣旨説明と提案が松山会長より行われた。

8. 平成 27 年度予算案（常務理事・梅村）

平成 27 年度藤田学園同窓会収支予算案、藤田学園同窓会奨学金基金収支予算案、獨創一理基金収支予算案が提案された。

代議員より、同窓会館維持運営費予算が 36 万円では少ないのではとの質問に対し、ラウンジを学園に貸与していることから同窓会室のみの賃貸料であることが説明された。

代議員より、平成27年度収支予算案の平成26年度決算額・当期収支差額に誤記載があるのではとの質問に対し、再度、確認及び監査を行い、もし間違いがあればその部分を訂正して「第35号あけぼの杉」に掲載・公告することで承が得られた。

審議の結果、平成 27 年度の事業計画及び予算が満場一致で承認された。(別掲：平成 27 年度藤田学園同窓会収支予算、藤田学園同窓会奨学金基金収支予算、獨創一理基金収支予算)

9. 質疑応答（副会長・小島）

陪席者より支部会の設立及び充実について、同窓会として何か企画があるかとの質問がなされた。松山会長より藤医会支部会を核として、本同窓会の各地域の皆様との連携を強化し、本同窓会の支部会を立ち上げるべく鋭意努力したいとの回答がなされた。

8. 議長解任（司会・長谷川）

9. 閉会の辞（副会長・濱子）

引き続き、小野雄一郎理事長、星長清隆学長、たくさんの恩師のご臨席をいただき、懐かしく賑やかな懇親会が開催された。